

ひなたの 出逢い・子育て応援運動について

ひなたの出逢い・子育て応援運動では、それぞれのライフステージをサポートし、希望どおりに家族を持つことができ、子育てが楽しいと感じられるみやぎづくりを推進しています。

取り組み

希望どおりに家族を持つことができ、子育てが楽しいと感じられる宮崎の実現に向けて
県民、行政、関係団体、事業所などが連携・協働して、積極的に応援！

推進体制



自分で選ぶチカラが、未来を生きるチカラに変わる

ライフデザインを 考えるために



宮崎県は、それぞれのライフステージをサポートします！



ポータルサイトで
最新情報を更新中！

県内の出逢い・子育てイベント情報や
支援情報を分かりやすく掲載します。



ポータルサイト



instagram

Instagramでも
情報を随時発信中！

Q「ライフデザイン」ってなに？

わたらしい
ライフデザインなんて
言われてもよくわからない…



そんなふうを感じる人もいるかもしれません。

でも、難しいことではないのです。

ライフデザインとは、自分がこれから歩いていく人生の方角や距離、スピードを見定めること。

暮らすこと。働くこと。生きること。

それらは、とてもシンプルで当たり前のことのようにも思えますが、

そこにこんな変数を加えてみると…

「誰と」「いつ」「どこで」「どのように」

あなたのライフデザインの可能性はぐんと広がります。

そして、そこから、なにを選び取るかはあなた次第。

わたらしいライフデザインってなんだろう？

そんなシンプルだけど、とても大切な視点に気付いてもらうことが、このパンフレットの役割です。

これから迎えるかもしれない就職、結婚、家族との関係など…

「仕方ない」とネガティブに選ぶより、「私はこれ!」とポジティブに選んでほしい。

きっと、それがあなたの豊かな人生につながるはずだから。

さあ、自分で選ぶチカラを身につけて、あなたらしい人生を楽しんでください。



lifedesign Quiz ライフデザインに関するクイズに挑戦してみよう

答えはこのパンフレットのどこかに載っているよ。

lifedesign

Q1 宮崎県では、男性は27歳、女性は25歳で結婚する人が最も多い

Yes or No

lifedesign

Q2 宮崎県には、同性同士をパートナーとして認める制度を持つ市町村はない

Yes or No

lifedesign

Q3 一人暮らしをする人の割合は減っている

Yes or No

lifedesign

Q4 結婚した夫婦に誕生するこどもの数は、ここ50年の間変わっていない

Yes or No

lifedesign

Q5 こどもがほしいけどできないとき、その原因のほとんどが女性にある

Yes or No

lifedesign

Q6 男性の育児休業取得率は50%を超えている

Yes or No

lifedesign

Q7 宮崎県の県民意識調査によると、男性も女性も「家庭生活・地域活動より仕事に専念したい」と思っている人が多い

Yes or No

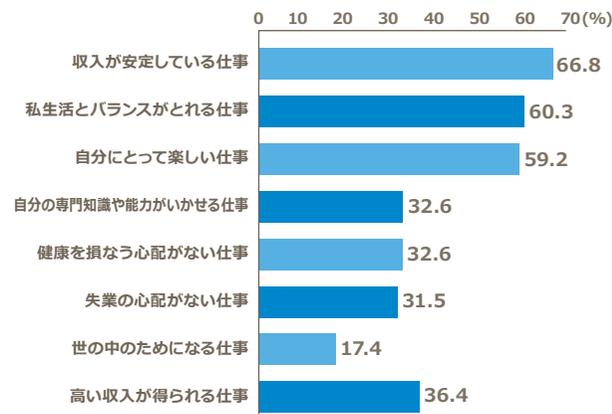
働くことについて 考えてみよう



働く目的・将来の職業

どんな仕事に就きたいですか？また、何のために働きますか？全国の18歳～29歳の人にどのような仕事が理想だと思うかと聞いたところ「収入が安定している仕事」が最も多くなっています。次に「私生活とのバランスがとれる仕事」、「自分にとって楽しい仕事」と続きます。職業を選ぶ際は、ワークライフバランスや自分にあった仕事かどうかを判断基準の上位としているようです。

どのような仕事が理想的だと思うか(18～29歳) (複数回答)



出典:国民生活に関する世論調査(令和4年10月調査)(内閣府)

仕事・就職

何のために働く？

●大切だと思う順に番号を付けよう。あなたの働く目的について考えてみよう！

- 1 金銭的な報酬**
仕事をして得られる金銭。副業や株、積み立てなども含む。能力や労働に対する金銭的な評価。
- 2 安定性**
同じ仕事を長く続けること。先の見通しが立てやすく、安心した暮らしを確立できます。
- 3 やりがい**
仕事や社会活動を通じて得られる人間関係、人脈。社会における立ち位置や居場所。
- 4 社会貢献**
地域活動やボランティア、困っている人に寄付するなど、社会生活向上のために尽力すること。

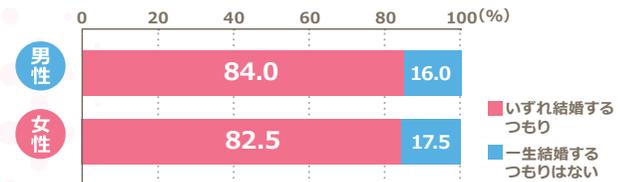
- 5 将来の夢**
今の段階で理想としている自分像や、自分が達成したいと思うゴール。
- 6 世間体**
家族や仲間、社会から、どのように見られたいですか？またどのようにで在りたいですか？
- 7 自分の成長**
仕事や社会を通じた学びや経験を積むことで、自分の考え方やものの見方をステップアップできます。

パートナーについて 考えてみよう

結婚について どう考えている？

学生の皆さんにとって、結婚はまだ遠い話かもしれませんが。しかし、宮崎県の20代～40代の未婚者に結婚の意思を聞いてみたところ、男女ともに8割以上が「いずれ結婚するつもり」と結婚について前向きに答えています。

20代～40代の未婚男女の生涯の結婚意思



出典:令和元年度結婚・子育て意識調査(宮崎県)

何歳までに結婚したい？

結婚は、何歳までにしたいと考えていますか？宮崎県の平均初婚年齢は男女とも約2～3歳上昇し、晩婚化が進んでいます。一方で、結婚のピーク年齢を見てみると、男女ともにこの30年であまり変わっていないことが分かります。

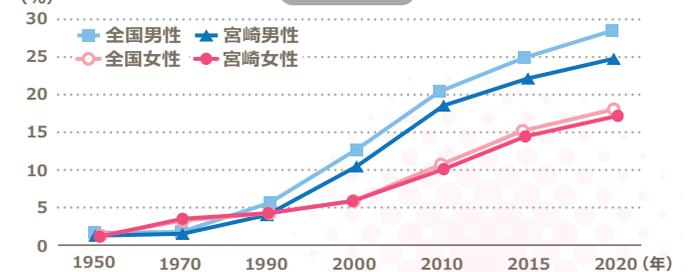


出典:令和4年 人口動態統計(厚生労働省)

未婚化が進んでいる？

宮崎県の50歳時未婚率を見ると、この50年で急激に上昇していることが分かります。近年の婚姻件数の減少の背景には、少子化による若年者の減少に加え、未婚率の上昇があるとされています。

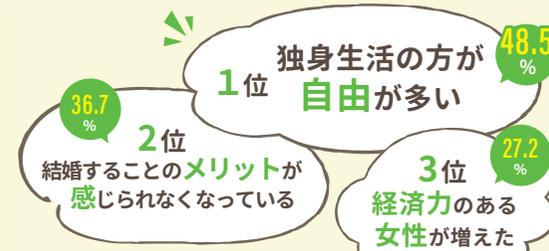
50歳時未婚率



出典:人口統計資料集(国立社会保障・人口問題研究所)

宮崎県民に聞いた

「平均的な結婚年齢が上がった」「結婚しない人が増えた」理由



出典:令和元年度結婚・子育て意識調査(宮崎県)

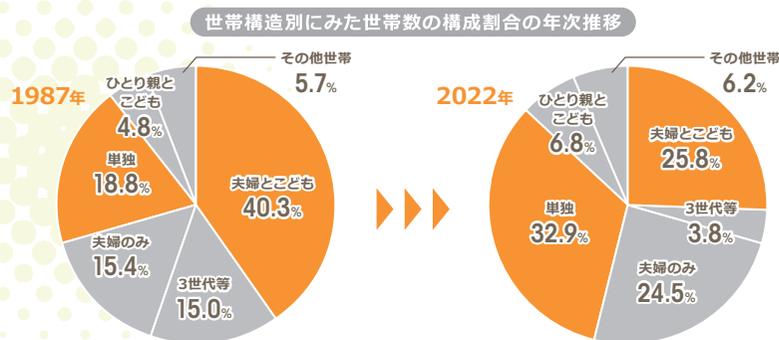
好きになる人が異性とは限らない
～パートナーシップ制度～

2015年に渋谷区と世田谷区で国内初めての同性に対するパートナーシップ制度が誕生して以来、この制度を導入する動きは全国に広がり、現在では100を超える自治体で導入が進んでいます。宮崎県では、県内26市町村のうち、9自治体(宮崎市、延岡市、日南市、日向市、西都市、えびの市、新富町、木城町、門川町)がパートナーシップ制度を導入しています。

家族・家庭について考えてみよう

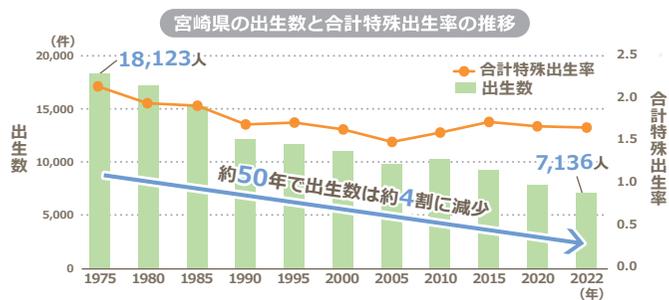
家族のカタチはさまざま

家族の姿は年々変化しています。ひと昔前までは全世帯の5割以上を「夫婦と子ども」「3世代等」の家族が占めていましたが、令和4年時点では「夫婦と子ども」世帯は25.8%に。一方で「単独」世帯や、「夫婦のみ」世帯の割合が増すなど家族のカタチは時代と共に変化しています。

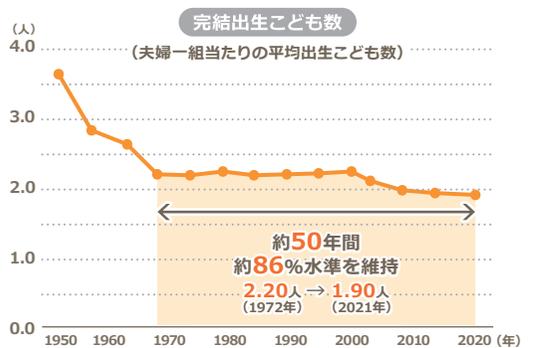


出典:2022(令和4)年 国民生活基礎調査(厚生労働省)

夫婦が持つ子どもの数はどう変化している？



出典:人口動態統計(厚生労働省)



出典:第16回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査(国立社会保障・人口問題研究所))

宮崎県の出生数を見てみると、約50年で約4割に減少していることがわかります。

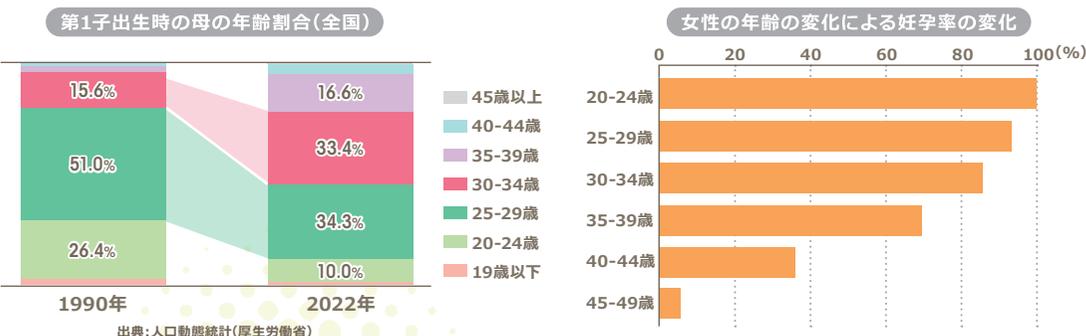
その一方で、夫婦一組あたりの平均出生子ども数に相当する「完結出生子ども数」を見てみると、約50年間で2.20人から1.90人と微減となっています。出生数の大幅な減少の要因として、夫婦の持つ子どもの数の変化よりも、結婚する夫婦の数の減少が影響していると言えます。

こどもを持つなら何歳ぐらい？

将来、こどもは何歳ぐらいで持ちたいですか？

全国の「第1子出生時の母の年齢割合」を見ると、この30年間で30代の割合が増えていることがわかります。一方で、女性が妊娠しやすいのは一般的に20代から30代前半とされており、その後は年齢とともに(特に35歳以降)低下するというデータがあります。

また、男性の精巣では、生涯を通じて精子がつけられますが、加齢とともに少しずつその機能が低下するといわれています。



出典:人口動態統計(厚生労働省)

出典:一般社団法人日本生殖医学会HP

※妊孕率とは、女性1,000人あたりの出生数を元に、20-24歳を100%として計算した値。

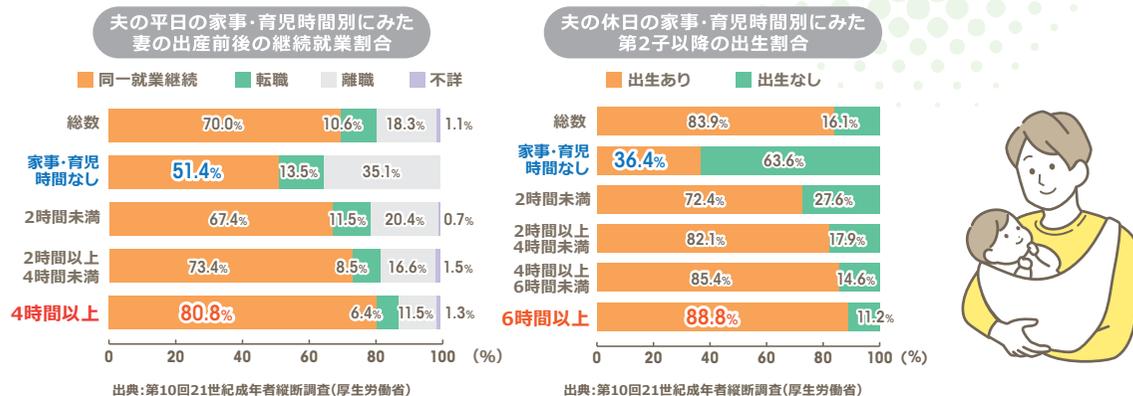
不妊という言葉聞いたことがあるでしょうか？

「不妊」とは、妊娠を望む健康な男女が一定期間避妊をしないで性交をしているにもかかわらず、妊娠しないことをいいます。不妊は男性に原因がある場合も、女性に原因がある場合もあります。最近では決して珍しいことではなくなっており、有効性や安全性が示された不妊治療が保険適用の対象となるなど、経済的な負担を軽減するための支援も始まっています。

不妊とは？

男性の育児参加の現状について知ろう！

家事も育児も、女性・男性どちらも同じように担い、性差別をなくそうという動きが進んでいます。そして、仕事と家庭を両立するには、パートナーと互いの協力が不可欠です。男性の育児休業取得の理解が進んでいるとはいえ、実際の取得率は伸び悩んでいます。夫の家事育児の時間が長いほど、妻の継続就業割合は高く、さらに第2子、3子を持てる可能性も高くなる傾向にあることが分かります。



出典:第10回21世紀成年者縦断調査(厚生労働省)

出典:第10回21世紀成年者縦断調査(厚生労働省)



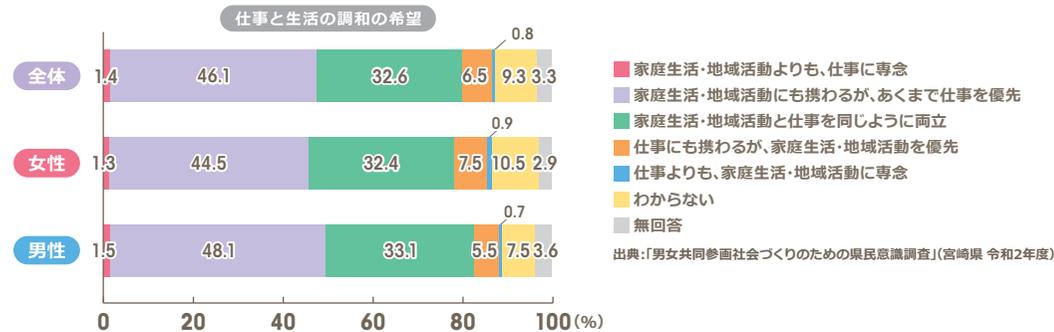
ワーク・ライフ・バランス

について考えよう！

🔑 ワーク・ライフ・バランスって何だろう？

簡単に説明すると、「仕事と生活の調和」を目指すこととされています。

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、近隣の付き合いなどの生活も欠かすことができないものです。仕事と生活、両方の充実があってこそ、人生の生きがいや喜びは増します。私たちは性や年齢にかかわらず、人生のそれぞれの段階に応じて多様な生き方が、選択・実現できる社会を理想としています。そのためには個人はもちろんのこと、企業や自治体、社会全体が連携し「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指していく必要があります。



lifedesign think! ワーク・ライフ・バランス あなたの仕事と生活の調和は？

● 大切だと思う順に番号を付けよう。

あなたの日々の暮らしで重視するものは何かな？

1 家庭生活

掃除、洗濯、料理といった家事のほか、結婚すると子育て、場合によっては介護も必要かもしれません。

 番目

2 仕事

生活のもととなる金銭的報酬を得るため。しかし、社会的な立場や役割を得ることもつながります。

 番目

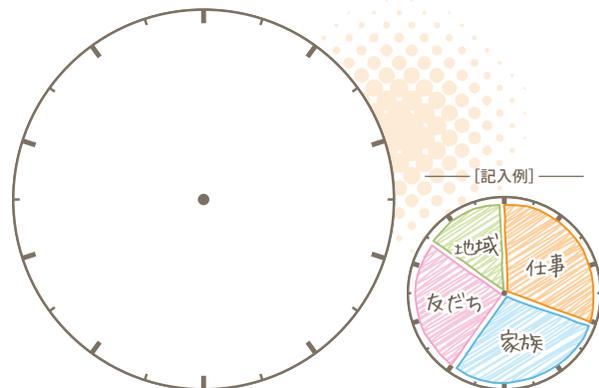
3 趣味など個人の生活

仕事や家庭以外で自分を表現する場として趣味があります。仕事以外でのつながりづくりにも役立ちます。

 番目

● 自分の未来バランスを書いてみよう

仕事をする 家族と過ごす 友だちと過ごす 地域で過ごす
など、自分が希望するバランスを割合で記入してみよう。



人生の先輩に

インタビューしてみよう！

自分が理想と感じる人生の先輩に、インタビューしてみよう！

質問は、下の項目のとおり。先輩は、何歳でどんなライフイベントを経験したのか、どんな人生を歩んできたのか聞いてみましょう。最初に考えた「自分の価値観や基準」をはじめ、学んできた「ライフデザインの情報」と比べてみて、あなたは感じるでしょうか？

● インタビューする人

名前	年齢
	職業

Q1 人生ストーリーについて聞いてみよう！

Q2 今、最も大切にしていることを聞いてみよう！

Q3 ライフデザインする上でのアドバイスを聞いてみよう！

● インタビューを通して気付いたことを自由に記入しよう！

.....

.....

